



所在地 妙高市諏訪町2丁目4番8号

電話 72-4225 FAX 72-5477

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/>

1 学校の概要

- (1) 創立 平成3年4月1日
- (2) 教職員 校長 小林朋広 教頭 金子謙太郎
教諭 20名 講師 3名
養護教諭 1名 栄養教諭 1名
主任 1名
教育補助員 1名 図書司書 1名
特別支援教育支援員 6名 用務員 2名

(3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合 計
第1学年	2	17	20	37
第2学年	2	19	20	39
第3学年	2	19	21	40
第4学年	2	24	19	43
第5学年	2	26	18	44
第6学年	2	36	25	61
特別支援	4	18	7	25
合 計	16	159	130	289

2 学校経営の基本構想

- (1) 人権教育、同和教育を柱にした教育活動の展開
- (2) 学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の編成と実施
- (3) あいさつ、生活習慣の向上
- (4) 家庭や地域と力を合わせた学校づくり

3 教育目標

○「あかるく つよく かしこく」

4 年度の重点目標及び努力事項

(1) 重点目標

- 心・自分や友達のよいところを見付け、伝える
- ・いじめや差別について考え、自分にできることをしようとする
- 体・規則的な生活リズムをつくる
- ・自ら進んで運動する
- 学・文章や資料、相手の発言の意図を正しく捉え、自分の思いや考えの根拠を明確にして表現する

(2) 努力事項

- ・当事者意識を高める「なかまの時間」の計画的な実践
- ・掲示板を活用した活動や取組の紹介
- ・あいさつ運動の実施 ・なかよし班活動の計画的な実施
- ・キラリ発見カード活用の見直し
- ・「なかよしチャレンジタイム」の計画実施
- ・保護者と連携した健康週間の継続
- ・メディアに関する指導を全学年で実施・食育の実施
- ・基準となる目標を設定し、めあてをもたせた体育授業の実施
- ・自分の考えを深めるための「伝え合い」を重視した授業づくり
- ・児童の振り返りを基にした授業改善
- ・基礎的な読解力の育成 ・読書活動の充実、親子読書の推進
- ・ICT活用 ・総合的な学習や各教科でのSDGsの推進

5 研究計画

(1) 研究主題

「『自分もみんなも 明るく うれしく よかったね』を具現する子どもの育成」

～当事者意識を育む同和教育関連授業の充実と、
日々の教育実践の積み重ねを通して～

(2) 主題設定の理由

当校は、「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」の合言葉のもと、人権教育、同和教育を柱にした学校づくりを進めている。互いのよさや違いを認め、思いやりの心をもってかかわる子どもの育成を目指し、同和教育の5つの柱～「就学保障」「学力保障」「進路保障」「人権、同和教育」「生き方学習」～を窓口にして、教育活動を進めている。合言葉の具現化のためには、当事者意識を育む授業の充実と、同和教育の5つの柱に基づく日々の取組の充実が欠かせぬことから本研究主題を設定する。

(3) 研究内容

- ①当事者意識を育む同和教育関連授業の充実
- ・当事者意識を高め、思いや決意を伝え合う子どもの育成を目指した授業実践
 - ・人権感覚を養うための職員研修の充実
- ②合言葉を具現する子どもの育成を目指した日々の教育実践
- ・「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」と言える学級・学校づくり
 - ・自他のよさや違いを大切にしてお互いのかかわる「なかよし班活動」と「なかよしチャレンジタイム」
 - ・合言葉を具現化している姿の見取りと情報の共有

6 ESD推進計画

- ・人権教育、同和教育の教育計画の中に、「ジェンダー平等を実現しよう」「平和と公正をすべての人に」につながる教育活動を位置付ける。
- ・「なかま」の授業（人権教育、同和教育関連授業）で上記項目に係る授業研究を推進する。

7 主な行事の予定

- 4月：始業式、入学式、1年生を迎える会
- 5月：なかよし（縦割り班）遠足
- 6月：さくらフェスティバル（文化祭）
- 7月：5年生自然教室、終業式
- 9月：人権教育、同和教育を学ぶ会
- 10月：大運動会
- 11月：なかよし（縦割り班）チャレンジタイム
- 12月：個別懇談会
- 1月：スキー教室
- 2月：なかよしチャレンジタイム
- 3月：6年生を送る会、終業式、卒業式